

室内用

クオーツ時計 (掛置兼用)

もくじ

1. 安全にお使いいただくためにははじめにお読みください	2
2. 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)	3
■ 電池の種類について	
■ 電池の寿命について	
3. 電池の交換について	3
4. 電池・製品の廃棄について	3
5. 各部の名称	4
6. ご使用方法	4
7. 時計の設置について	5
8. 時計の掛けかた	6
9. お手入れについて	7
天然素材について	
陶磁器について	
10. おもな製品仕様	7
11. アフターサービスについて	8
お問い合わせ先	

付属品

お試し用電池 1個、木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4個、保証書 1枚
取扱説明書 本書

【組立式スタンド】

背板 1枚、支板(左右) 2枚、座板 1枚、ボルト 4個、六角レンチ 1個



注意

陶磁器、スタンドグラス、天然石などを使用しているものは、時計を落とすなどして強い衝撃を加えると破損します。また、固いものにぶつけると欠けたり、割れたりします。

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○ は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

● は、指示する行為を必ず守ることを示しています。



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。



梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。



電池から漏れた液にふれない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。



強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。



浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびや故障の原因になります。



ぬれた手でさわらない

さびや故障の原因になります。



分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。



下記のような場所では使わない

性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または50℃以上の所。
- 火気のそば。 ● ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。

■ 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

3. 電池の交換について

⚠ 注意 電池は早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをご守りください。

- 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- 時計が動いていても2年に1回定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。



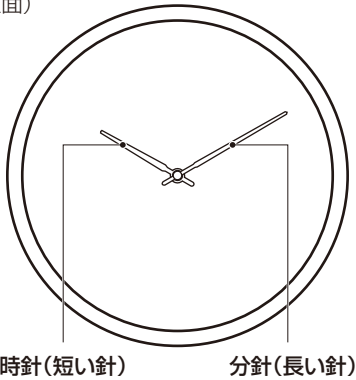
4. 電池、製品の廃棄について

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

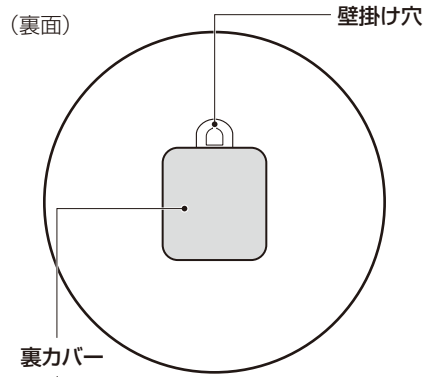
5. 各部の名称

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

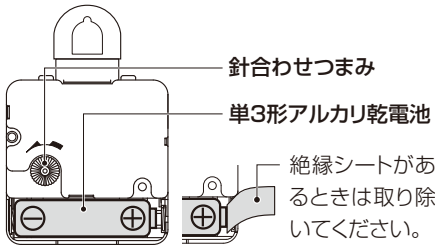
(正面)



(裏面)



注意 針に触れない
時間違いやけが、破損、故障の
原因になります。



注意 電池の \oplus \ominus を逆に入れると、
電池の液漏れ・発熱・破裂の
原因となります。

6. ご使用方法

① 裏カバーを取り外す

② 電池を電池ホルダーの \oplus \ominus 表示に合わせて入れる

絶縁体があるときには、取り外してください。

電池の \oplus \ominus を逆に入れると時計は動きません。

電池からの液漏れを防ぐため、時計が動いていても1年に1回定期的に交換してください。

③ 針合わせつまみを回して時刻を合わせる

④ 裏カバーを取り付ける

7. 時計の設置について

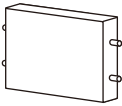
置時計として使用するときは、付属のスタンドを組み立ててご使用ください。
置いて使用する際は、時計の転倒や落下による時計や家具などの破損、また、けがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところに設置してください。

■同梱内容

組み立てる前に組立式スタンドの付属品が揃っているかご確認ください。

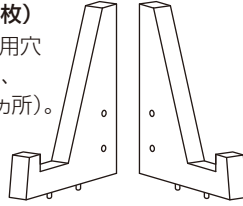
◎図は説明用ですので、実際の形状と異なることがあります。

背板(1枚)

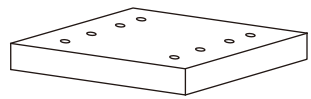


支板(左1枚/右1枚)

※それぞれ、組立用穴
(内側面2カ所)、
突起部(底面2カ所)。



座板(1枚)



※突起部(側面:左2カ所/右2カ所)。
※前後左右の区別はありません。

※組立用穴(天面4カ所)、ボルト穴
(4カ所)
※前後の区別はありません。
※クッションのある方が底面です。

ボルト(4個) 

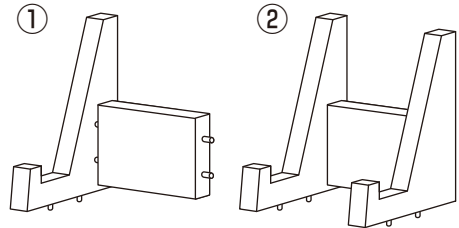
六角レンチ(1個) 

■組み立てかた

① 背板側面2カ所の突起部を支板側面の2カ所の穴にはめ込んでください。

※背板を支板にはめ込む順番は、左右どちらからでも構いません。

② ①と同様に反対側の背板側面2カ所の突起部をもう一方の支板側面の2カ所の穴にはめ込んでください。

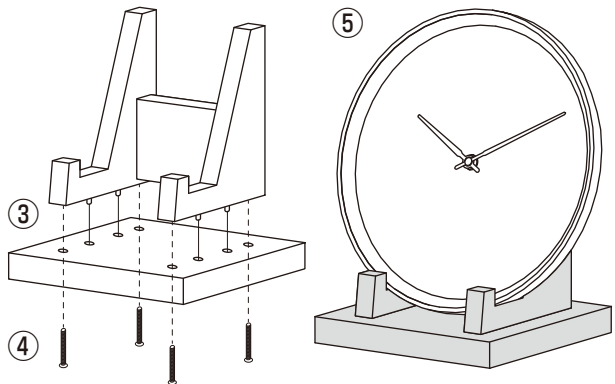


③ 組み立てた支板底部の突起計4カ所を座板天面の穴にはめ込んでください。

④ 座板の底部からボルト4個を固定用ボルト穴にそれぞれ差し込み、六角レンチを使ってボルトをしっかりと締めてください。

※支板と座板にぐらつきがないか確認してください。

⑤ 右図のようにスタンド正面側に時計を置いて、支板に立て掛けてください。



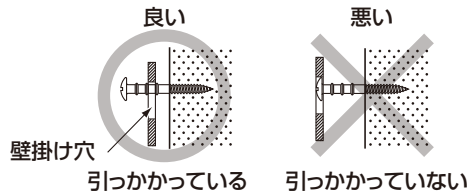
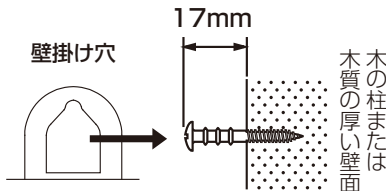
8. 時計の掛けかた

注意 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ、取付金具)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外のところに掛け具を掛けないでください。

■ 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



■ 石こうボードの壁面の場合

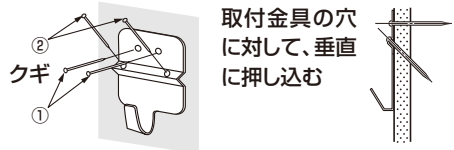
付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

- 壁の材質、取り付け方法を確認の上で使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

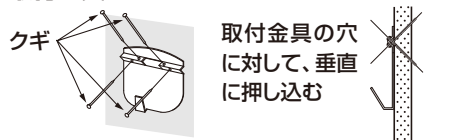
取り付け方法

取付金具 タイプA

金具を水平にして①②の順序でクギを押し込む。



取付金具 タイプB



■ その他の壁面の場合

コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

掛けかた

良い例:引っかかっている 悪い例:引っかかっていない



9. お手入れについて

- 柔らかい綿布でから拭きをするか、ぬるま湯に浸してよく絞った綿布で拭いてください。油汚れはすぐに拭きとるようにお心掛けください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

天然素材について

木や大理石などの天然素材を使用しているものは、木目や大理石の模様、色合いなどが商品ごとに異なることがあります。また、経年劣化により色合いや艶が変化することがあります。

陶磁器について

陶磁器を使用しているものは、色合いなどが商品ごとに異なることがあります。金彩を施しているものは、性質上長期間で使用されますと、多少変色する場合があります。その際にはやわらかい布で磨いていただきますと、元の輝きに戻ります。

注意 陶磁器の取り扱い

衝撃や急激な温度変化を与えると、ひび割れや破損することがありますので注意してください。万一、ひび割れや破損した場合は危険ですので直ちに使用を中止してください。

10. おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃	*結露しないこと
時間精度	平均月差±20秒(常温中のクォーツ精度)	
推奨電池	単3形アルカリ乾電池	JIS規格 LR6 1.5V 1個
電池寿命	約2年	
防滴防塵機能	なし	

※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱してまいりますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お話し用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

11. アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

ご使用方法やアフターサービスについてのご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。
お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。
例 4SG○○○、4KG○○○、4KGA○○、8MG○○○、8MGA○○

(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

製造
発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<https://www.rhythm.co.jp>

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

R221-HXXZ

(Y2003)